



悪の組織「ダランダラーン」から世界を救え、カブくまるレンジャー 【セリフ台本】

【登場人物】

兄：阿部さん

妹：西園寺さん

ダランダラーン：小池さん

レッド丸：西園寺朋樹

ピンク丸：（三団リーダー：蛭名さん）

グリーン丸：森さん

イエロー丸：（三団リーダー：玉井さん）

ブルー丸：鳥羽さん

兄が学校から帰ってくる。

兄「かあちゃんただいまー。あれ？いないのか。公園でドッチボールして来たから手を洗わなきゃな」

ダランダラーン（物陰から）「まてまてまて、手なんてどうせまた汚れるんだ、やめとけやめとけ」

兄「そっか、じゃあ宿題でもしよっかな」

ダランダラーン「そんなの後でいいじゃないか。ゲームしようぜゲーム、おもしろいぞ」

兄「じゃあゲームゲーム。。。っていうかさっきからあなたは誰ですか？」

ダランダラーン（物陰から姿を現し）「安心せい。わしは子供たちの自由を守る正義の味方ダランダラーン様だ。かあちゃんのことわしにまかせて、お前は好きなことをしていればいい、ダランダラーン！」

兄、（魔法にかかった感じで）「あ、はい、ゲームします。。。」

妹が登場「ねーねーお兄ちゃん、くつの紐がほどけちゃったんだけど、結んでくれない？

お母さんにおつかい行ってきてって頼まれたから」

ダランダラーン「いまお兄ちゃんはゲームで忙しいんだ、おつかいなんて後にしてお前も一緒にゲームをしようじゃないか、わっはっは」

妹「えーっ、でもおかあさんが、」

ダランダラーン「おかあさんのことはわしにまかせとけ、ダランダラーン！」

妹、（魔法にかかった感じで）「う、うん、ゲームする。。。」

ダランダラーン「わーっはっはっはっはー！」

こうして兄と妹は魔法にかかってゲームに熱中するのであった。

(姿は見えず、ブルー丸の声のみ) 「そこまでだ、ダランダラーン！」
ダランダラーン「何者だ！」

(音楽とともに登場、〇〇丸で各自決めポーズ → 集合して決めポーズ)

(カブくまるレンジャー全員の声) 「「「「カブくまるレンジャーだ！」」「」」「」」

レッド丸「なんということだ。また罪のない子どもたちが被害にあってしまった。」
ダランダラーン「わっはっは、お前たちも好きなだけダラダラなまけていればいいのだ。」

ピンク丸「そうはさせない、この世界がめちゃくちゃになってしまう」
ダランダラーン「どうせお金はAIが稼いでくれるんだ。お前たちは遊んでいればいいのだ」

グリーン丸「そんなことをして、お前の目的はいったい何なんだ」
ダランダラーン「そんなこともわからんのか、みんなナマケモノにしてしまえば世界征服なんて簡単なことだ、わっはっは」

イエロー丸「なんだって！子どもたちの自由を守る正義の味方なんてうそ！こいつは、子どもたちの未来を奪う悪魔よ」
ダランダラーン「いまさら気づいたのか、もう遅いわい、わしは子どもたちの楽しそうに遊んでいる顔を見るのがなによりしあわせなんじゃ」

ブルー丸登場「この悪魔め、さっさと子どもたちの魔法を解け！」
ダランダラーン「教えてあげないよ〜〜〜ん」とおどけてみせる

レッド丸：「おのれ！自分のことは自分でビーム！」
ダランダラーン：「うおっ、なんだその技は」
ピンク丸：「くらえ！幼いものをいたわるウェーブ！」
ダランダラーン：うあああ
グリーン丸：「これもだ！互いに助け合ってよカッター！」
ダランダラーン：おおおお
イエロー丸： 必殺！進んでよいことブーメラン！

ダランダラーン：うぬぬぬ

ブルー丸：これで最後だ！素直になろうぜトルネード！

ダランダラーン：ぎあああ

ダランダラーン：「わ、わかった、ヒントをやろう。わしの家来たちが子どもたちのチームワークを試すいろんな試練を用意しておく。それをクリアすれば魔法が解けるかもしれない。せいぜいがんばるんだな。あばよー」

ダランダラーン、弱りながら急いで退場

レッド丸：「おのれ、ダランダラーンめ！急がないと子どもたちが危ない」

ピンク丸：「でも、チームワークのいい子どもたちなんてどこにいるの？」

グリーン丸：「はっはっは、そんなこともあるのかとカブスカウトの組長たちに手紙を送っておいたぞ！」

イエロー丸：「も、もしかして、ここに来ている君たちが今日一緒に戦ってくれるカブスカウトなの？」会場のみんなに尋ねるジェスチャー

ブルー丸：「なんと、グリーン丸でかしたな。ここにいるみんなならなんとか魔法を解くことができるかもしれない」

グリーン丸：「では、ダランダラーンとの戦いについて説明をしよう。・・・・

（録音はここまで）

グリーン丸：

今からみんなには、組の仲間と協力して、11のコーナーを周ってもらう。

11個のコーナーを周る順番は、これから組長たちに決めてもらう。

封筒を引いた組長は、合図をするまで開けずに待っていてくれ。

～封筒を引かせる～

それでは、組長は封筒を開けてくれ。

（スカウトたち、封筒確認のため、しばしざわざわ）

グリーン丸：

みんな、こちらに注目してほしい。

自分たちが最初に行くコーナーを、確認できただろうか。

それでは、試練に立ち向かい、点数を競い合う6つのコーナーを紹介しよう。

呼ばれたコーナーは、手をあげてくれ！

○すなおに家に帰りましょう

○助け合いビルドレンジャー

○おさないものをいただきます

○Do good things!

○元気に楽しくロープワークリレー

○においきムス

この6つのコーナーは、〇〇色のビブスを着ている。

次に、ダランダランの試練を頑張ったスカウトたちへのオアシスとして、5つのコーナーを用意した。

○プロボウラーを目指せ！

○カブくまるレンジャーに水を届けよう

○この道を行く

○キャンディキャッチャー

○ターゲッティング

この5つのコーナーは、〇〇色のビブスを着ている。

ところで、隊のリーダーから、マス目の書かれた紙はもらっているかな？

これは友だちビンゴと言って、ラリー中にたくさんの友だちを作ってもらうアイテムとなっている。課題に書かれている友だちを探してくれたまえ！！

それでは君たちの健闘を祈る！ ラリースタート！！！！

ゲーム終了後 エンディングスタンツ

(※自分のセリフの時は、できるだけ大きく動いてください)

(魔法が解ける音)

兄：「はっ！・・・あれ？ぼくはいままで何をしていたんだ？」

妹：「なんだかダラダラ遊んでばかりだったような・・・」

カブくまるレンジャー：「「「「やったー！ついに魔法が解けた！」」」」」

ダランダラーン：「くうっ、せっかくかけた魔法が破られてしまった！だが、子どもたちの心になまけ心がある限り、わしは不滅じゃ。せいぜい束の間の平和を楽しんでいるんだな！あばよ～～～！」

(ダランダラーン 退場)

レッド丸：「くそう、ダランダラーンめ。逃がしたか」

(音楽が切り替わる。カブくまるレンジャー全員、スカウトの方を向く)

ピンク丸：「カブスカウトのみんな、ありがとう！

イエロー丸「みんなのおかげで、子どもたちにかかった魔法を解くことができたわ」

グリーン丸「がんばってくれた組の仲間から、3組のベストレンジャー賞を発表させてもらう。呼ばれた組はこちらへ来てほしい」

(ベストレンジャー賞 発表 → 表彰 → 祝声 → ベストレンジャー戻る)

ブルー丸：

「みんな、ありがとう。

カブスカウトのやくそくとさだめが心があれば、これからもダランダラーンの魔法に負けないだろう。

がんばるみんなを僕たちも応援している。

では、さらばだ！また会おう！」(カブくまるレンジャー 敬礼)

(音楽がヒーローのテーマに切り替わったら、カブくまるレンジャー退場)